

令和6年第6回鋸南町議会定例会議事日程〔総括表〕

令和6年9月定例会

日程第1	会議録署名議員の指名
日程第2	会期の決定
日程第3	諸般の報告
日程第4	一般質問〔4名〕 ① 3番 中村 基 議員 ② 8番 竹田和明 議員 ③ 6番 笹生あすか 議員 ④ 9番 大塚 昇 議員
日程第5	議案第1号 鋸南町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
日程第6	議案第2号 鋸南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
日程第7	議案第3号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
日程第8	議案第4号 人権擁護委員候補者の推薦について
日程第9	議案第5号 令和5年度鋸南町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
日程第10	議案第6号 令和6年度鋸南町一般会計補正予算（第2号）について
日程第11	議案第7号 令和6年度鋸南町介護保険特別会計補正予算（第1号）について
日程第12	議案第8号 令和6年度鋸南町鋸南病院事業会計補正予算（第1号）について
日程第13	議案第9号 令和6年度鋸南町水道事業会計補正予算（第1号）について

- 日程第 1 4 議案第 1 0 号 令和 5 年度決算認定について
1. 令和 5 年度鋸南町一般会計歳入歳出決算
 2. 令和 5 年度鋸南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 3. 令和 5 年度鋸南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
 4. 令和 5 年度鋸南町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 日程第 1 5 議案第 1 1 号 令和 5 年度決算認定について
1. 令和 5 年度鋸南町鋸南病院事業会計決算
 2. 令和 5 年度鋸南町水道事業会計決算
- 日程第 1 6 報告第 1 号 令和 5 年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率について（一般会計）
- 日程第 1 7 報告第 2 号 令和 5 年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率について（病院事業会計）
- 日程第 1 8 報告第 3 号 令和 5 年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率について（水道事業会計）

令和6年第6回鋸南町議会定例会会期日程表（案）

自9月3日（火） 至9月13日（金）

会期	月日	曜日	時間	説明
第1日	9月3日	火	午前10時	開 会 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、 一般質問4名 散 会
第2日	9月4日	水	午前10時	開 議 議案第1号から議案第4号の上程、説明、質疑、 討論、採決 議案第5号から議案第11号の上程、説明 報告第1号から報告第3号の説明 散 会
第3日	9月5日	木		休会（議案調査のため）
第4日	9月6日	金		休会（議案調査のため）
第5日	9月7日	土		休会
第6日	9月8日	日		休会
第7日	9月9日	月		休会（議案調査のため）
第8日	9月10日	火		休会（議案調査のため）
第9日	9月11日	水		休会（議案調査のため）
第10日	9月12日	木		休会（議案調査のため）
第11日	9月13日	金	午前10時	開 議

				議案第 5 号から議案第 1 1 号の質疑、討論、採決 閉 会
--	--	--	--	------------------------------------

一 般 質 問 一 覧 表

令和6年第6回鋸南町議会定例会

通告順	質 問 要 旨	質 問 者	答 弁 者
1	<p>1. 河川の氾濫防止対策について</p> <p>鋸南町総合計画の一つに「安心安全なまちづくり」を掲げています。</p> <p>去る6月28日深夜、鋸南町に線状降水帯が走り、地すべり土砂災害、長狭街道の陥没、佐久間川の氾濫が起きました。</p> <p>地すべり土砂災害、道路の陥没については、町・県の速やかな対応で大半が原状回復し、一部は計画的復旧作業の段階に移行しました。</p> <p>一方、佐久間川の氾濫については、冠水が田畑道路で、翌日には水が引き、見た目上は元の状態に戻りました。</p> <p>川岸の崩落も1箇所ありましたが、1か月後、県の応急対応がなされました。</p> <p>しかし、道路や土砂崩れに比べ、河川には抜本的な対策が施されておらず、極めて近い将来の集中豪雨に対して、無防備な状態のままです。</p> <p>今回は、幸いにも家屋への浸水は免れ、生命の危機に晒されず済みましたが、流域の3箇所、6家族の方々は、住居の際まで水が迫りくる中、どのような対応をすべきか迷いながら、自宅にて不安な一夜を過ごしました。</p> <p>また、収穫前の田畑を耕作していた方々にも大きな痛手となり、短時間の雨量でこの状態では、今後いつ大規模災害に発展してもおかしくありません。</p> <p>そこで、今回氾濫した佐久間川と氾濫しなかつ</p>	中 村 基	町 長

	<p>た保田川を、下流から上流まで目視点検し、危険箇所を一覧化すると共に、両河川の違いを調査しました。</p> <p>その結果、佐久間川の氾濫は全体で14箇所、内9割が中流域で起きていることが分かりました。</p> <p>更に、氾濫こそしませんでした。土砂が堆積して、川底から川岸天端迄2m弱の余地しかない氾濫予備軍が、21箇所、総長2,200m、これは佐久間川全長の約1/3相当になります。</p> <p>又、現在でも5箇所で漂流物（大木・竹枝）が川をふさいでおり、流れを阻害しています。</p> <p>崩落寸前も、鋸南富山インター高架橋下部の護岸と佐久間方向の道路端のアスファルトと竹藪、及び上佐久間コミセン手前の、外野勝山線沿い対岸の3箇所で、早急な対応が必要です。</p> <p>そこで、町民の暮らしと生命を守るために、行政は次の3点を、再発防止の観点で今後どのような方向性で考えておられるか、お伺いします</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 佐久間川中流域に堆積した土砂の撤去について ② 水位上昇時の住民への適切な対応のあり方について（全河川） ③ 河川を良い状態で維持するための方策について（全河川） 		
2	<p>1. 道の駅保田小の経済波及効果の推計について</p> <p>今年6月28日付の房日新聞に掲載された記事によると、「道の駅保田小学校の経済波及効果の推計値が公表され、房日新聞に掲載（6月28日付）された。その額は98億9,300万円で、地方</p>	竹田和明	町長

創成の拠点として大変な成果を上げているとのことだ。

果たしてこの推計は妥当か。上記経済効果の額を町内人口で割り返すと141万円となるが、一般の町民はいつ、どのような形でその巨額の経済効果を楽しむことができるのか。

町の財政は依然として厳しく、過疎化の進行も深刻だ。なぜ巨額の経済波及効果があったにもかかわらず、これらの改善すら見られないのか。

仮に上記推計に重大な誤りがあれば、誤った楽観論が広がるおそれがある。行政の成果を自画自賛するための推計・公表ではないのか。推計の前提条件、分析方法、効果の額の妥当性を明らかにするとともに、当該推計ノウハウの今後の積極的活用方法について確認する。

- ① なぜ、今回から経済波及効果の推計を行うこととしたのか。その経緯は。
- ② 町内の経済波及効果の推計は、総生産額から町外からの移入分を差し引いて計算する。つまり総生産額に占める町内の生産額（以下「自給率」という）を分析し、勘案しなければならない。上記記事として公表された推計には、この自給率が勘案されているか。
- ③ 経済波及効果とは、生産の過程であらたな中間需要が連続して生じる効果（以下「生産誘発効果」という）によるものだ。建設工事および施設売上に対して生じる生産誘発効果は総務省の「産業連関表」中のいずれの産業か。
- ④ 今回町が独自に習得した経済波及効果分析のノウハウは、今後どのように活用していく意向か。

3	<p>1. 鋸南地区環境衛生組合とごみ処理事業について</p> <p>令和9年4月の新ごみ処理施設の供用開始に向けて、6市1町で協議を進めているところだが、解散後の鋸南地区環境衛生組合の職員の待遇について等、不安な声が寄せられています。また、中継施設や可燃物以外のごみ処理について、今後どのようにしていくのか、町民からの問い合わせも増えています。</p> <p>そこで、5点質問します。</p> <p>① 安房地域のごみ処理事業の現状はどうか。</p> <p>② 第2期君津広域廃棄物処理事業の進捗状況はどうか。</p> <p>③ 鋸南地区環境衛生組合の解散までのプロセスはどうなっているか。</p> <p>④ 今後の可燃物以外のごみ処理について、どのように検討されているか。</p> <p>⑤ 鋸南地区環境衛生組合職員と待遇等について交渉が必要だと考えるがどうか。</p> <p>2. 広報・情報発信について</p> <p>鋸南町は広報(情報発信)に課題があると言われていています。以前に比べ、複数のSNSの運用もされ、町報きよなん等の広報紙は読みやすくなった等の声も届いており、努力の成果も見られています。</p> <p>しかし、防災安心メールと連動した際のX(旧Twitter)は途中で文章が途切れたままで不十分です。また、イベント等「やっていたのを知らなかった」という声も多く、周知が足りず、町民の参</p>	笹生あすか	町長

町長

	<p>加者も少ないという現状は続いています。</p> <p>そこで、3点質問します。</p> <p>① 町は、広報(情報発信)の課題について、どう認識しているか。</p> <p>② ホームページのリニューアルについて、進捗状況はどうか。</p> <p>③ 以前のように「防災行政無線でもイベント等の発信をして欲しい」との声が多いがどうか。</p>		
4	<p>1. 鋸南町行政のDX推進の現状と課題について</p> <p>自治体DX推進計画は、令和2年に国の「デジタル・ガバメント実行計画」で、重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、関係省庁による支援策等を取りまとめて、「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を策定して、令和4年6月、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が決定された。</p> <p>住民に身近な自治体、市町村の役割は極めて重要であるとし、</p> <ul style="list-style-type: none"> *自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、 *デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく <p>ことが求められ、DXを推進するに当たっては、住民等とその意義を共有しながら進めていくことが重要とされ、データが価値創造の源泉であることについて認識を共有し、データの様式の統一化を図りつつ、データの円滑な流通を促進することによって、自らの行政の効率化・高度化を図ると</p>	大塚 昇	町 長

	<p>ともに、連携により民間のデジタル・ビジネスなど新たな価値等が創出されることが期待されるとしている。</p> <p>そこで次の3点を質問する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 鋸南町のDX推進の現状と課題について② DX推進後の町の管理運用システム経費見込み及び情報管理保全システムの構築は③ 自治体情報システムの標準化・共通化の方向性、課題について		
--	---	--	--